

第5回日本・中国・韓国国際シンポジウム  
長寿命建設物のためのコンクリートの性能向上 2011 -

5<sup>th</sup> International Symposium between Japan, China and Korea  
Performance Improvement of Concrete for Long life span Structure (PICLS2011)

環境型社会形成が叫ばれる中、社会基盤構造物に使用される資源と維持管理に関わるエネルギーは膨大であり、それらの主要構造材料であるコンクリートの信頼性向上や長寿命化を図ることは急務である。また、日本、中国、韓国が属するアジアでは現在、世界の3分の2もの社会基盤の構築が行われ、その長寿命化に関わる要請は強まっている。

本シンポジウムの参加機関が所在する地域は、それぞれの国の中でも寒冷であり、コンクリートにとって過酷な劣化条件である凍結融解作用の影響が著しい地域である。このような地域において、社会基盤構造物の長寿命化を図る技術を研究・発展させることは、持続可能な発展に大きく寄与する。

かかる認識のもと、本国際シンポジウムでは、日本・中国・韓国の3カ国が協力し、今後持続可能な発展を遂げていくため、社会基盤構造物の主材料であるコンクリートの性能向上、長寿命化を目的とした研究・技術交流を行うものである。

日時：2011年8月8日(月)～10日(水)  
場所：北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所  
主催：PICLS2011 実行委員会  
共催：北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所(予定)  
後援：日本建築学会北海道支部(予定)  
日本コンクリート工学会北海道支部(予定)

組織委員会

共同議長<日本>	濱 幸雄	室蘭工業大学大学院教授
	桂 修	北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所研究主幹
<中国>	邹 超英	哈爾濱工業大学土木工程学院教授
	李 佰寿	延辺大学工学院土木工程系教授
<韓国>	韓 千求	清州大学校建築工学部教授
	金 成旭	韓国建設技術研究院
実行委員会 委員長	桂 修	北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所研究主幹
	濱 幸雄	室蘭工業大学大学院 教授
	溝口 光男	室蘭工業大学大学院 教授
	岸本嘉彦	室蘭工業大学大学院 助教
	谷口 円	北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所
	深瀬孝之	伊藤組土建株式会社
	佐川孝広	日鐵セメント株式会社

プログラム

2011年8月9日(火) <シンポジウム>  
8:45～8:50 登録  
9:00～17:30 論文発表会  
19:00～21:00 懇親会  
2011年8月10日(水) 見学会

論文

- ・特別講演：2編  
延辺大学工学院土木工程系 李 佰寿教授  
韓国建設技術研究院 金 成旭主任研究員
- ・一般発表論文：21編  
日本 7編、中国 7編、韓国 7編

公式言語 英語

参加・論文申込：2011年6月3日(金)  
論文提出切：2011年7月1日(金)

連絡先

北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所環境科学部  
谷口 円

E-mail : [madoka@hro.or.jp](mailto:madoka@hro.or.jp) TEL : +81-166-66-4244 FAX : +81-166-66-4215